

記事掲載：2023 年 4 月

翻訳：2023 年 5 月

## オーストラリアの国際 NGO が、 ECW へ 3 年間で 2400 万豪ドルを投資するよう政府に要請



©Education Cannot Wait

[プラン・インターナショナル・オーストラリア](#)と[セーブ・ザ・チルドレン・オーストラリア](#)は、オーストラリア政府に対し、ECW に拠出し、緊急事態や長期化する危機の影響を受けた子どもや思春期の若者の教育を支援するための行動喚起を開始しました。

[両団体による提言書](#)は、武力紛争、強制移住、気候変動による災害、長期化する危機のために、教育を受けられない危険にさらされている 2 億 2200 万人の子どもに注目しています。提言書は、ECW が 2023～2026 年の戦略計画を実現するために少なくとも 15 億米ドルの動員を目指していることを指摘し、オーストラリア政府に対し、3 年間で 2400 万ドルをこの基金に投資するよう求めています。

オーストラリアの支援について、NGO は、アラブ首長国連邦で開催される COP28 を前に、オーストラリアが ECW へ拠出することは、世界的な気候変動と教育の危機という結節点となる課題へオーストラリアの決意を力強く示すことになるだろうと述べています。

また、報告書では、オーストラリアが ECW に投資する理由として、以下の 3 点を挙げています。

1. インド太平洋地域の気候変動による緊急事態への対応。ECW の新たな戦略計画では、気候変動が教育に与える影響への対応を中核に据えています。オーストラリアは、この活動を形成する上で主導的な役割を果たすことができ、インド太平洋地域の気候変動による災害の影響を受ける優先国の危機的状況にある子どもに資金が届くようにすることができます。

2. 多国間でのリーダーシップの発揮とプレゼンスの増大。オーストラリアは ECW の創設ドナーであり、この基金が今日のような影響力のあるグローバルな公共財となることを支援しました。オーストラリアは 2017～2020 年にかけても 1,000 万オーストラリア・ドルを投資しています。ECW に再び投資することは、オーストラリアの当初からの拠出を有効にし、グローバルな影響を与え、世界の協力国と肩を並べて、最も複雑な危機の中でも子どもたちが学び続けられるようにすることを意味します。

3. 女子教育と、最も取り残されている人々への支援。ECW の資金は、最も複雑で長期化し、資金不足に陥っている危機に集中しており、ECW による介入は、これらの危機の中で最も取り残されそうな人々、すなわち女の子、障害のある子ども、強制避難民に焦点を当てています。

また、プラン・インターナショナル・オーストラリアの報告書「[From Crisis to Classroom](#)」では、緊急事態や長引く危機が子どもや思春期の若者の教育に与える影響について、太平洋地域に焦点を当てながら紹介しています。

【翻訳前の記事（英語）】

[Leading Australian NGOs Call for Government to Invest AUD\\$24 Million Over 3 Years in ECW | Education Cannot Wait](#)